



國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

97

國家圖書館出版社

六月四日

六月三日



國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

97

國家圖書館出版社

第九七冊目錄

昭和三年（一九二八）調查報告（第二十五期生）

滿洲ニ於ケル高粱包米ニ關スル調査

關於滿洲高粱、玉米の調査

鹽原長衛

第二卷第一編

..... 一

滿洲ニ於ケル支那ノ殖民（附支那農業人口、階級の分析）

中國在滿洲の殖民（附中國農業人口、階級の分析）

和田喜一郎

第二卷第二編

..... 一七七

打通線

打通線

新谷音二

第二卷第三編

..... 三四七

東部蒙古ニ於ケル甘草調査

對蒙古東部甘草の調査

百瀨清治

第二卷第四編

..... 四三九

東部內蒙古及東支沿線牧畜業調查報告
內蒙古東部及東支沿線畜牧業調查報告

鈴木常雄

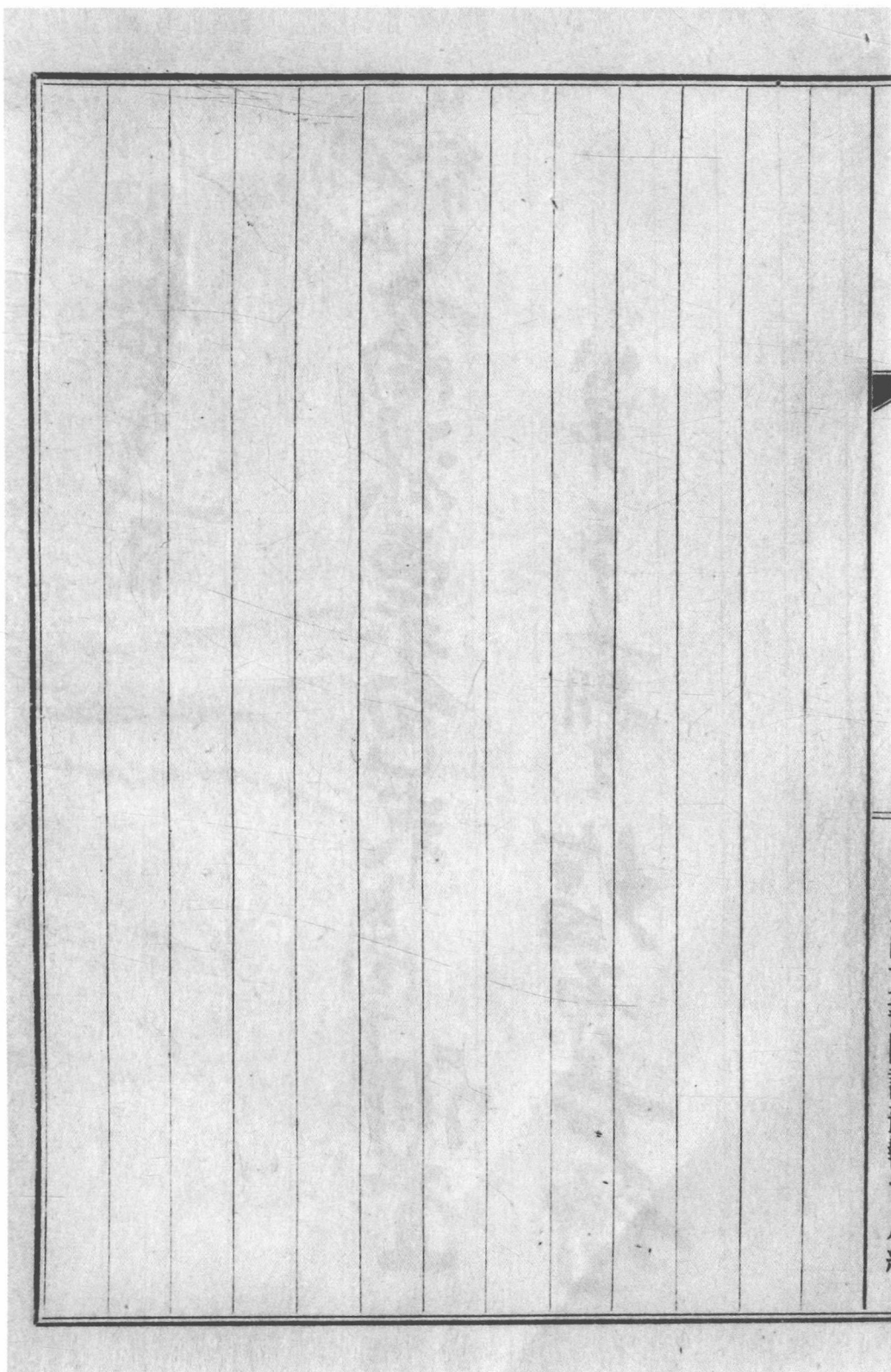
第二卷第五編

……………五六五

昭和四年一月

満洲高粱粟包米上陸調査

第三十五期生垣原七衛



凡例

一、満洲に於ける一般特産物に就き調査せんと欲せしめた、
みだりに洽汎にわたり精密を缺くを以て高粱、粟、包
米に就き満洲に於ける栽培法並に虫廻り、数量、輸
移、状態又此れが取引、慣習に就き平面的に觀察
研究し記述せり、本書により右主要特産物の一般的
事情に對し概傳ある知識を得んとせしめんとす。

一、本書はこれを五言で分つ。第一章は凡そ満洲の過
去及び將來にわたる推移及び特産物の地理的地區を論
じ第二章に於て満洲に於ける高粱、第三章に於
て粟、第四章に於て満洲に包米の栽培に關し概説
し第五章に於て満洲に於ける右主要特産物の集散と

取引慣習及び輸移出入態につて記述す但し第五章
の中第二章以下の重要市場に於けるは廻り及び取引
事情は後半即ち長春以下は旅行線内なるを以て実
地調査且に依る所多きも他の前半は他り調査書類に
依るところ多し従て本書の主要部分は即ち第五
章なり

一特産物取引にあつては総ての商業的及び経済的松
岡の参加を必要とするが本書は金融方面及び運搬
機関は全然除外したり蓋し調査範囲が拡大を恐れ
たるによる。

一本調査者は同志の学友四名と共に初め東部龍海
龍線の経済事情調査を敢行することに決定し居
たりし北國民革命軍の江北進出は同地方を激乱の

地と変せしめ爲めに志を遂ぐるを得ず方面を轉じて漢にあり
廣東に在つる縦断線を計畫し着々準備をす、めたる
も根深き排日思潮は支那金土を覆ひ、ために生發迄一
旬の時日を余さずして俄然豫定線変更、東蒙北支を
調査線とする旅行線を取ることに決し豫定線準備調
査を行ふの時日なく而も滿蒙の地も亦排日の氣勢盛
にして直接華商について調査研究するの機会を失へ
られず既に和商と接して不十分なる調査資料を失へ
られぬに過ぎず。然れども全然白紙の状態より本書の
記述を得る程、度迄助言に注意をなし下されし失敬事
已諸氏には深甚なる感謝の意を表する次第なり。

昭和四年十一月

第二十五期生 塩原長衛

本書編述に當つて用いた参考書は左の如し。

一、滿洲特産事情

一、滿洲特産物取引指針

一、北滿の特産物

一、滿洲高粱に關する調査

一、滿洲粟に關する調査

(滿鉄本社調査課編)

一、滿洲の包米に關する調査

一、滿洲の高梁 (栽培の卷) (農事試験場彙報)

一、其他大連商業會議所報、哈爾濱調査資料、兩路

西亞時報、及び滿蒙年鑑。

尙施行中種々御指導の上材料を提供して下さるはもと
して滿鉄各公所國際運輸各支店出張所及び各地領事
館の館員諸氏なれど實地取引に従事せる諸氏について

受けたる所も亦少からず、特に、は満鉄本社調査課の
農林博士熊林、御堂、建児氏に負ふ所大なり、特
に筆大書して感謝の意を表す。

洲に於ける高粱粟包米に関する調査。

目次

第一章

緒言

一頁

第二章

満洲に於ける高粱の栽培

一一

第一節

高粱の分類と品種

一一

第二項

高粱の分類

一一

第二項

満洲高粱の品種とその分布状況

一二

第二節

満洲の氣候と高粱作

一五

第三節

高粱の栽培法

一六

第四節

高粱の病虫害

二〇

第五節

高粱栽培に関する經濟試験成績

二五

第六節

高粱の生産

二七

第二項

支那に於ける高粱の生産

二七

第三項

滿洲に於ける高粱の生産

三一

第七節

高粱の用途

三三

第三章

粟の栽培

三七

第一節

滿洲に於ける粟の品種

三七

第二節

滿洲に於ける粟作と氣候

三九

第三節

滿洲に於ける粟栽培法

四一

第四節

粟の病虫害

四三

第二項

粟の病虫害

四三

第三項

粟の虫害

四五

第五節

粟作の經濟試驗成績

四六

第六節

粟の生産

四八

第一項

支那に於ける生産額

四八

第三項

滿洲に於ける生産額

五一

第七節

粟の用途と消費数量

五五

第八節

滿洲西粟の朝鮮輸入事情

五七

第一項

滿洲西粟の朝鮮輸入とその沿革及び大勢

五七

第二項

輸入季の及び経路と鮮内集穀地

六二

第三項

滿鮮粟取引採算法を就いて

六七

第四項

滿洲西粟輸入の將來概観説

七一

第四章

滿洲に於ける包米の栽培

七三

第一節

包米作の氣候と土壤

七三

第二節

包米の栽培法

七四

第三節

包米の病虫害

七七

第四節

包米の産額

七八

第一項

滿洲に於ける主産額

七八

第三項

支那に於ける産額

八二

第五節

包米の用途

八四

第五章

満洲に於ける高粱粟包米の

集散と取引

八五

第一節

高粱粟包米の出廻り状況

八五

第一項

南満に於ける出廻り状況

八六

第二項

北満に於ける出廻り数量

八八

第二節

満洲の主要市場に於ける

穀物の集散と取引

八九

第一項

遼陽

八九

第二項

奉天

九一

第三項

開原

九六

第四項

四平街

九九